

第57回岡山県がん診療連携協議会議事要旨

1 日時 令和6年12月2日(月) 18:00~18:54

2 形態 web会議

3 出席者 56名

4 あいさつ

○開会の挨拶とともに、長年連携協議会を引っ張ってきた岡山大学病院腫瘍センター長が今年度で退任されるにあたり労いの言葉があった。

5 報告事項

(1) 岡山県

○がん診療連携拠点病院等の整備指針見直しスケジュールについて報告があった。

・がん診療連携拠点病院等の整備指針は4年ごとの見直し、がん対策推進基本計画は6年ごとの見直しとなっているため、今後はがん診療連携拠点病院等の整備指針の見直し期間を6年ごととし、がん対策推進基本計画の計画期間と一致させることとした。

・次回の整備指針の見直しは令和10年度に予定されている。

・令和8年度に行う更新時には令和9・10年度の2か年のみの指定となる。(その後は6年間)

・岡山県の推進病院の指定期間が令和8年3月末までとなっているため認定更新を来年度実施する。認定期間は令和8年度~11年度までの4年間とし、令和12年度以降は拠点病院の指定期間と同様に6年間の認定とすることを検討している。来年度の認定に向けて、推進病院認定要綱は今年度改正を行う予定である。

○令和6年度アピアランスケア医療従事者研修等の開催について報告があった。

・アピアランスケア医療従事者研修とオンライン相談対応研修を令和7年3月17日(月)にオンラインにて開催する。受講希望者は指定の申込書にて申し込む。

(2) 事務局・岡山大学病院

○令和6年度各拠点病院等から情報提供があった研修会・講演会について報告があった。引き続き、今後も情報提供いただきたい。

(3) 作業部会等

① 地域連携部会

○令和6年度岡山県統一版がん診療連携パスの算定実績(R6.7~R6.10集計分)について報告があった。

・パスを多く使う施設、使わない施設それぞれあるが、県内全体の合計で見ると前年同月と比較して増加している傾向にある。

○岡山県がん診療連携協議会のホームページに掲載されている内容について提案があった。

・県内のクリニックから、岡山県がん診療連携協議会のホームページに掲載されている地域連携の内容について、緩和ケアパスの内容が古いのではないかと指摘があった。「在宅リスト」は平成25年時点の情報のため、増加・廃止等が多数あり実情に合っていないためかと思われる。本件は令和4年の緩和ケア実務者会議で継続審議になっていると聞いた。「在宅緩和ケア地域連携クリニカルパスについて」の内容を今後も継続して掲載するかどうか、継続する場合にはその更新について、緩和ケア部会でご検討いただければと思う。

→出席委員：緩和ケアのパスは5大がんのパスとは全く異なるもので、診療報酬とは関連がなく、「在宅緩和ケア地域連携クリニカルパス」は緩和ケア患者をクリニックに紹介するときに必要な情報をまとめたもので、平成25年に緩和ケア部会で作成した。令和4年の緩和ケア部会で変更が必要か検討したがそのまま掲載を続けることとした。「在宅リスト」については平成25年に岡山大学病院で作成されたものであるが、今後更新予定がないと言われている。令和4年の検討時に削除しておけばご迷惑がかからなかったかと思う。代わりとなるリストがあると聞いているので、この「在宅リスト」は削除して良いのではないかと思う。

⇒「在宅緩和ケア地域連携クリニカルパス」は活用している施設もあるのでそのまま残す。「在宅リスト」は削除する。代替りのリストにリンクを貼るかどうかは今後の検討課題とする。

② がん相談支援部会

○9月9日にweb開催された第55回がん相談支援実務者会議について広報があった。

- ・第1回がん相談員研修は8月31日に予定していたが悪天候のため10月19日に延期、開催済。
- ・第2回がん相談員研修が12月7日、第3回は3月8日開催予定である。
- ・9月のがん征圧月間は各施設のがん相談支援センターでパネル展示を実施した。
- ・図書館との連携展示は、今年度は新たに2施設を追加して11館で開催した。
- ・RSKラジオ広報は、今年度はスタッフの都合がつかず岡山県の方に対応していただいた。
- ・PDCA サイクル相互評価について、最終年度に当たる今年度は11月～12月初旬に相互チェックを行うことが決定しており現在進行中である。次回の部会で情報共有する予定である。管理者等の同席をお願いしており、ご協力いただきましたことをこの場を借りてお礼を申し上げたい。
- ・「オンライン相談の体制、運用について」「コミュニケーションに配慮が必要な方への相談体制について」をテーマにグループワークを行った。

○第23回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会（11月21日）について報告があった。

- ・国協議会（以下、親会）は本来、協議・審議をする場で各部会から上がってきた案件について責任を持って行動を起こしていく場であるべきだが、現状は各部会で話し合った内容の報告会になっているのもっと活性化していく必要があるとの議論が上がっている。
- ・活性化していくために、各拠点病院からの問題点を受付けるワーキンググループを設けることが決定し、7名の「情報提供・相談支援部会運営委員会」委員が選ばれた。
- ・7月の親会で情報提供・相談支援部会から3点提案した。①今後の部会としての取組みとして、運営委員会を設置する。②部会では解決困難な課題を親会での検討課題として提案する。③親会は各部会からの課題を協議し、対策を打ち出す協議形式への移行を検討していただきたい。
- ・その結果、親会委員からは「各部会から上げられた個別課題の検討は難しい。課題と解決策案の提案先は今まで通り厚労省にお願いしたい。」との回答であった。
- ・親会と情報提供・相談支援部会の意見があまり合っていない現状について、今後どうしていくかは部会やワーキンググループメンバーで話し合っていくことになっている。

③ 緩和ケア部会

○8月26日にweb開催された第33回緩和ケア実務者会議、及び令和6年度緩和ケア研修会の開催日程について報告があった。

- ・令和5年度の岡山県の緩和ケア研修会修了者は229名で、令和5年度末までの累計は3,429名となった。
- ・第4次岡山県がん対策推進計画では、令和11年度末の緩和ケア研修会修了者の数値目標は4,500名のため、年間220名が受講すれば達成できそうな数値である。
- ・令和6年度緩和ケア研修会は順調に開催できている。
- ・本年4月に医療用麻薬適正使用ガイダンス他が改正されたので活用していただきたい。介護従事者の医療用麻薬自己管理マニュアルもあるので、困られている介護施設があればぜひ紹介していただければと思う。

④ がん看護部会

○7月26日にweb開催された第71回がん看護部会、及び9月27日にweb開催された第72回がん看護部会について報告があった。

- ・10月19日（土）開催予定のがん看護レベルアップセミナーの準備状況について報告があった。予定通り開催した。本セミナーは毎年開催しており、各施設には共催という形で輪番制で企画・運営を担当していただいている。その中で開催手順の詳細が申し送りしづらいとの意見があり、今年度の開催施設に開催マニュアルの作成をお願いしている。開催にあたって、看護師だけでは慣れない部分もあるため各施設の事務局にもご支援いただきたいという意見が出ている。具体的には広報、講師との連絡、必要経費の手続き等で、謝金・交通費については各施設で負担をお願いできたらと考えている。

- ・教育グループは岡山県共通のがん看護領域共通スライドの修正を進めており、年明けには完成する予定である。
- ・質評価グループでは、「岡山県のがん看護の現状と課題」について現状把握のため、拠点病院等のがん看護に関わる看護師を対象にアンケート調査を行った。1038名から回答をいただいております。現在内容を分析中である。アンケート結果をふまえて今後の部会活動における課題を明らかにし、必要となる計画を立てていく予定である。
- ・11月22日に対面形式で部会を開催し、今後はGoogleドライブを活用していくことが決定した。各施設に1つずつアカウントを割り振らせていただいて、ここに議事録や部会資料、県内共通スライド等を収納して全員で共有していく計画である。

⑤ 研修教育部会

- 10月7日にweb開催された第27回研修教育部会について報告があった。今年度の岡山県がん診療連携協議会主催の研修会について意見交換を行った。様々な意見が出たが、岡山済生会総合病院 犬飼先生に講師の選定を依頼した。近日中にプログラムの詳細が決定するかどうかと思うので、決定次第アナウンスさせていただく。多くの方にご参加いただきたい。
- ・開催時期：2025年2月26日 水曜日
- ・形態：リモートで開催（zoom利用）
- ・時間：19:00～20:00（1時間程度）
- ・テーマ：「栄養指導」
- ・講師：2～3名程度（多職種、県北地域の管理栄養士にもお願いする）
- ・対象：岡山県内のがん治療を行う医師を中心に、看護師、薬剤師、管理栄養士等の医療従事者・介護従事者に参加を呼び掛ける。
- ・前半30分は講師に講演していただき、後半30分はディスカッションを行う。

⑥ がん登録部会

- 10月21日にweb開催された第22回がん登録部会について報告があった。
- ・2013年症例院内がん登録患者にかかる生存確認調査の実施について岡山県から報告があった。
- ・国立がん研究センターのシステムエラーにより作成が遅れていた「岡山県におけるがん登録2020年版」が9月下旬に完成し、ホームページにも公表している。
- ・岡山県院内がん登録報告書の情報公開について、今回から「がん相談」の情報と「患者さん・ご家族用の施設」の情報を掲載したレイアウトにする予定である。岡山県院内がん登録報告書は、協議会ホームページや図書館等で誰でも閲覧することができる。また、岡山県の情報とともに全国集計のリンクも張ることとした。さらに、担当者（医師）によるがん登録部位別のコメントも掲載することとしたので、患者は各がんの特徴がより分かりやすくなるものと見込んでいる。
- ・がん登録データの活用について、各施設から様々な意見が寄せられているので、今後でもできるものから進めていきたいと考えている。

⑦ がん薬剤師部会

- 10月29日にweb開催された令和6年度第2回がん薬剤師専門部会について報告があった。今年度開催予定の研修会について協議を行い、以下の通り決定した。
 - ・2025年2～3月頃に対面形式で開催する。
 - ・開催場所は玉野、玉島、児島エリアで20～30名収容可能な施設（病院、公共施設）の中で調整する。
 - ・研修会の内容については12月中を目途に研修用スライドの原案を作成し、次回の部会で詳細を詰めていく。
- 薬局薬剤師の参加を模索していたところ、岡山県薬剤師会玉野支部から共催の申し出があったため今回は玉野支部と進めていくことに決定した。

⑧ 歯科部会

- 12月1日に岡山大学主催で開催された「中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム 第16回 歯科・口腔外科 Focused Seminar」、及び同日に開催した第7回歯科部会について報告があった。
- ・セミナーでは、口腔がんの早期発見・早期治療、口腔衛生管理、口腔がんの薬物療法について講演をいただいた。

- ・歯科部会では、岡山県委託事業「がん患者を対象とした地域歯科保健医療の実態調査及び基盤整備」事業について報告した。がん化学療法を行っている患者は口腔内トラブルが多発するが、そのような患者を受け入れてくれる歯科医院の実態が把握できていないという問題がある。そこで、受け入れてくれる歯科医院のリストをホームページに掲載しており、随時更新しつつある。その輪を広げるために各地で研修会「がん患者を支える医科歯科連携シンポジウム」の開催を予定している。

1) 津山地区 2025年1月13日(月・祝) 会場：津山中央病院

2) 倉敷地区 日時調整中 会場：川崎医科大学附属病院

出席委員から、ホームページに掲載している各地区をクリックしたら対応していただける歯科医院名が出てくるのか、患者もこのサイトにアクセスできるのかと質問があった。

→回答：ホームページは患者含めてどなたにもオープンになっている。始めたばかりでこれから輪を広げていくのでまだ掲載している歯科医院は少ない。特に腫瘍内科の医師が患者に歯科受診を勧める際の紹介の手助けになれば良いと考えている次第である。

- 岡山県歯科医師会より、本事業が実のあるものにしていけたらと考えているとコメントがあった。ホームページに掲載してある歯科医院が少ないことについて、十数年前に日本歯科医師会が実施した研修会を修了した施設が残っているだけなので、各方面とキチンと連携をとって実態のある研修会を歯科医師会としてもこれから開催していくことを考えている。医科の先生方にもお役に立てるよう活動していきたい。

⑨ がんゲノム医療部会

報告事項なし

⑩ がん・生殖医療部会

○10月8日にweb開催された第9回がん・生殖医療部会の議事要旨の提出があった。

- ・12月に各施設宛に妊孕性温存に関するアンケートの実施を予定しているので、ご協力をお願いしたい。

(4) 地域がん診療連携拠点病院・診療病院・推進病院

報告事項なし

(5) その他

特になし

6 協議事項

特になし

7 その他

特になし

8 次回開催日

今回は、令和7年4月開催予定。